

文化の心次世代継承事業

(学校・茶の湯・出会いプロジェクト)

| 京都府 文化芸術課 |
令和8年3月

01

事業趣旨

茶の湯には、相手を思いやる気持ちや、ものを丁寧に扱う心、季節や自然へのまなざしなど、昔から大切にされてきた“**文化の心**”が息づいています。

しかし昨今の生活様式の変化で、日常ではなかなか触れる機会がありません。

京都府では、茶の湯講師と連携し、**学校の先生方の負担を少なくしながら**、子どもたちが茶の湯に触れ合う時間をお届けしています。

子どもたちが“本物の文化”に触れることで、**自分自身と向き合い、相手を思う心を育みます**。

事業趣旨

実施事例

アンケート

学校側準備

FAQ

最後に

具体的に どう感じるなの？

学校種別 小学校 

学 年 4 年生

体験時間 95分×2 クラス
(10:45~12:25
/13:45~15:50)

科 目 総合的な学習の時間

こちらから
報告書 (PDF) を
ご覧いただけます 

の場合...

テーマは **国語×体験で深まる“日本文化理解”**

— どうして茶の湯体験を？

- ・国語科「くらしの中の和と洋」を学習
- ・年間を通じて日本文化に触れる学習を計画

→体験を「本物に出会う機会」として導入

— どんな体験をしたの？

- ・座学で、茶の湯文化の歴史や今日まで続いてきた理由を学習
- ・体験は立礼式で実施（座学、体験とも多目的室にて）
- ・児童は講師陣によって用意されたお菓子とお茶をいただいたあと、自分たちでも亭主役／客人役に分かれお点前を体験

— 子どもたちにどんな変化があったの？

- ・「家でやりたい」「習ってみたい」など**主体的な関心**を示した
- ・「和敬清寂が印象に残った」「お茶の出し方がわかった」と**茶の湯の心を理解しようという意欲**が見られた

具体的に どう感じるなの？

学校種別 中学校 

学 年 特別支援学級1～3年生

体験時間 100分 (12:55~14:35)

科 目 自立活動

の場合...

テーマは **コミュニケーション力を育む“おもてなし体験”**

— どうして茶の湯体験を？

- ・自立活動で重視している**コミュニケーションの育成につながる活動**として導入

— どんな体験をしたの？

- ・多目的室に畳（学校所有）を持ち込み和室を再現し、座礼式で実施。
- ・一期一会、和敬清寂、喫茶の意味を座学で学習
- ・講師のお点前の見学
- ・生徒同士でのおもてなし体験
- ・教員へのお点前披露

— 子どもたちにどんな変化があったの？

- ・講師とのかかわりやペアでのおもてなし体験を通じ、**相手を思いやる声掛けが増えた**
- ・日本文化を体験することが、自国文化への誇りを持つきっかけになった

具体的に どういう感じなの？

学校種別 特別支援学校 
 学 年 中学部1～3年生
 体験時間 110分 (10:30～12:20)
 科 目 生活単元

の場合...

テーマは 茶の湯で広がる“興味と成功体験”

— どうして茶の湯体験を？

- 地域の茶文化に関心を持つ
- 礼儀作法を学ぶことにより、**生活・社会の中での礼儀を意識する機会**とする

— どんな体験をしたの？

- 当日は学校にある和室で、座礼で実施
- 茶道のお話からクイズ、礼儀作法のレクチャーなど、レクリエーション感覚で参加できる工夫
- 掛け軸など設えを観察
- 実際にお茶をいただく

— 子どもたちにどんな変化があったの？

- 初めてのことに**消極的な生徒も関心を持って取り組むことができた**
- お茶碗・茶花・掛け軸など、実際に見ることで興味が高まった
- 「またやりたい」「茶碗選びが楽しかった」と**主体的な参加意欲**が見られた

事業趣旨

実施事例

アンケート

学校側準備

FAQ

最後に

具体的に どういう感じなの？



▲立礼式の雰囲気



▲掛け軸など設えの説明を聞きます



▲講師のお点前に興味津々



▲講師陣の振る舞うお茶をいただきます



▲いざお点前



▲先生も体験

事業趣旨

実施事例

アンケート

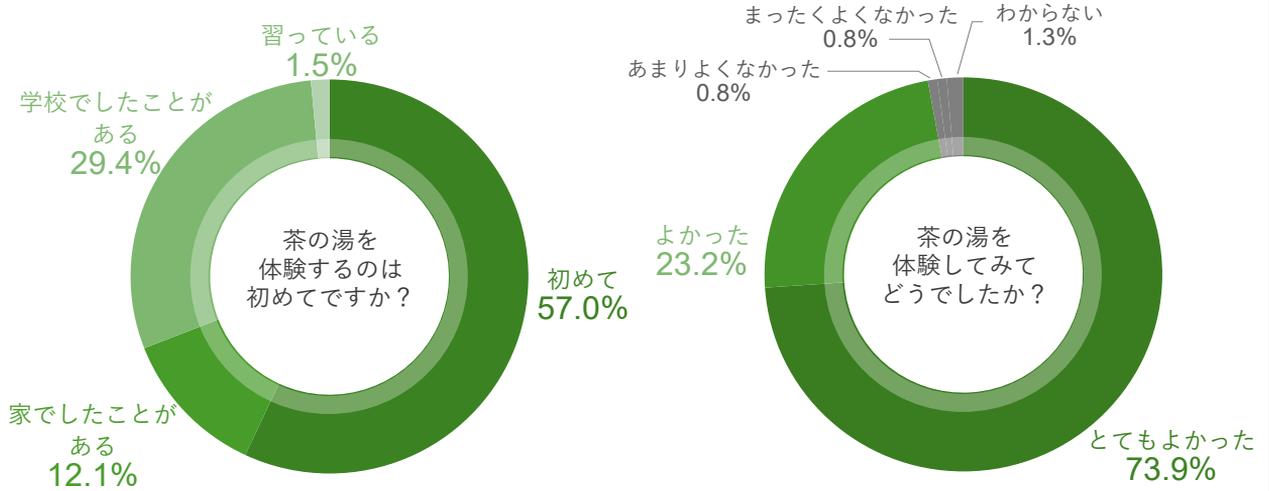
学校側準備

FAQ

最後に

児童生徒のみなさん、 体験はどうでしたか？

令和7年度 51校1,778名が体験のうち1,047名のアンケート結果抜粋



事業趣旨

実施事例

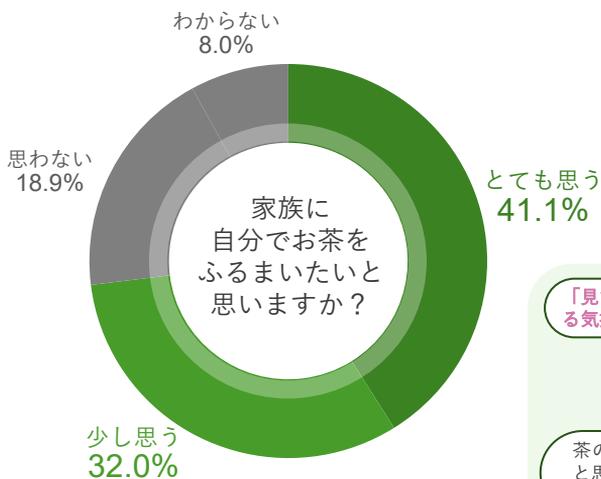
アンケート

学校側準備

FAQ

最後に

児童生徒のみなさん、 体験はどうでしたか？



何が印象に残りましたか？（複数回答可）

- 1 お茶をいただいたこと（904名）
- 2 先生の話がわかりやすかったこと（531名）
- 3 お茶を点てる体験ができたこと（503名）

自由記述より
「見て覚える」「おもてなしの心」「譲る気持ち」などをしっかり学べた

心の落ち着きなど、お茶を点てる以外のことも学べていい経験になった

茶の湯ってなんだか難しくて遠い存在かなと思っていただけ、今回茶の湯の魅力を知りとても面白いと思った



事業趣旨

実施事例

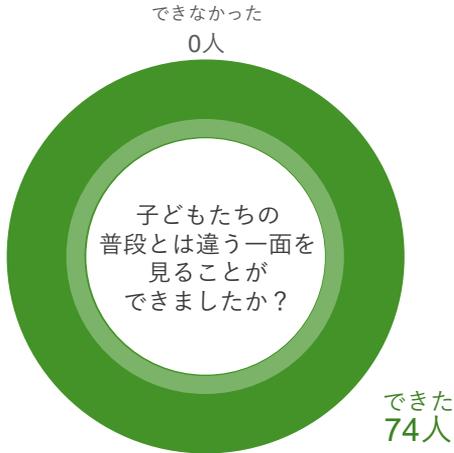
アンケート

学校側準備

FAQ

最後に

先生方から見て、 体験はどうでしたか？



自由記述より

児童同士「美味しい」「嬉しい」「楽しい」と**気持ちを伝え合う姿**が見られた

相手に出すお茶碗を選ぶときに**自然と相手の立場に立って考えていた**

反抗しがちな生徒が教員に自らお点前をしてくれ、感激した

体験が**児童生徒の自信**に繋がった

専門的な知識を持つ方からの指導は**教員自身も興味深く学び**となった

京都の文化を学ぶとても良い機会となった



事業趣旨

実施事例

アンケート

学校側準備

FAQ

最後に

子どもたちに体験してもらいたいけど…… 学校は何をしたらいいの？

打ち合わせをして

- ・実施1～2か月前に講師と学校にて**打合せ**（1～2時間程度）。
- ・実施初年度は府職員又は外部人材がコーディネーターとして打合せ・体験当日に立ち会います。

ちょっと準備して

- ・お菓子の手配等はすべて講師・京都府で行います。**学校側の費用負担もありません。**
- ・学校側では、状況に応じて事前学習を取り入れるとより当日の学びが深まります。
- ・**事業計画書を作成・提出**いただきます。

当日は児童生徒を
教室に連れて行くだけ！

- ・**当日の準備・片付けは講師やコーディネーターが行います。**
- ・ご対応いただける範囲で学校に備品をお借ります（打ち合わせ時にお伝えします）。
- ・先生も一緒に茶の湯の雰囲気を感じてください。
- ・児童生徒が普段とは異なる一面を見ることがありますので是非ご覧ください。
- ・体験終了後、**完了報告書を作成・提出**いただきます。

事業趣旨

実施事例

アンケート

学校側準備

FAQ

最後に

申し込もうかな……でも疑問がよくある質問と回答

茶道の知識が全くない教員でも対応できる？

大丈夫です。講師、コーディネーターがサポートします。

事前学習は必須？

必須ではありませんが、講師によっては事前学習をお薦めする場合があります。

和室がなくても大丈夫？

多目的室・教室・ランチルームなど、どの教室でも対応可能です。
必要に応じてござなどを持ち込み、簡易的に和室を再現する場合があります。

体験時間の目安は？

目安は2コマ分、90分程度です。学年や活動内容によって変動します。

食物アレルギーへの対応は？

食物アレルギーを有する児童生徒がいる場合は、お菓子の成分表等を事前に学校に提供しご確認ください。

特別支援学級・学校でも実施できる？

特別支援学級・学校でも実施しており、座礼式の有無・活動時間・説明方法などは子どもたちの特性に合わせて調整します。

事業趣旨

実施事例

アンケート

学校側準備

FAQ

最後に

最後にこれだけ！

京都だからこそできる体験を子どもたちに！

京都には、茶道四流派の家元が集まり、茶の湯にまつわる文化が今も日常の中に息づいています。

その京都ならではの環境で、子どもたちが“本物の文化に触れる機会”をもつことは、相手を思いやる心や、自分の気持ちを丁寧に見つめる力を育みます。

そして、こうした体験を積み重ねていくことが、日本の伝統文化を未来へ受け継いでいく大切な一歩になります。

事業趣旨

実施事例

アンケート

学校側準備

FAQ

最後に

そのほか、疑問点等は
担当までご連絡ください！

担当・問い合わせ先

京都府文化芸術課地域文化振興係

電話：075-414-4279

メール：bungei@pref.kyoto.lg.jp

事業趣旨

実施事例

アンケート

学校側準備

FAQ

最後に